# 【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の４の７第１項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2020年２月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第20期第２四半期(自　2019年10月１日　至　2019年12月31日) |
| 【会社名】 | ロジザード株式会社 |
| 【英訳名】 | Logizard Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長　金澤　茂則 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区日本橋人形町三丁目３番６号 |
| 【電話番号】 | 03-5643-6228　（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理部長　三浦　英彦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都中央区日本橋人形町三丁目３番６号 |
| 【電話番号】 | 03-5643-6228　（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理部長　三浦　英彦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町２番１号) |

# 第一部 【企業情報】

## 第１ 【企業の概況】

### １ 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第19期<br>第２四半期<br>連結累計期間 | 第20期<br>第２四半期<br>連結累計期間 | 第19期 |
|---|---|---|---|---|
| 会計期間 | | 自 2018年７月１日<br>至 2018年12月31日 | 自 2019年７月１日<br>至 2019年12月31日 | 自 2018年７月１日<br>至 2019年６月30日 |
| 売上高 | (千円) | 757,664 | 783,002 | 1,454,028 |
| 経常利益 | (千円) | 128,489 | 114,214 | 233,775 |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期(当期)純利益 | (千円) | 88,151 | 76,788 | 159,185 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 87,687 | 76,788 | 158,280 |
| 純資産額 | (千円) | 972,216 | 1,136,857 | 1,042,809 |
| 総資産額 | (千円) | 1,174,897 | 1,342,520 | 1,280,180 |
| １株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 27.88 | 23.65 | 50.16 |
| 潜在株式調整後１株当たり<br>四半期(当期)純利益金額 | (円) | 26.42 | 22.81 | 47.52 |
| 自己資本比率 | (％) | 82.7 | 84.6 | 81.4 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 73,990 | 60,007 | 197,159 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | △46,455 | △49,706 | △99,478 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 421,856 | 12,276 | 416,852 |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末(期末)残高 | (千円) | 762,623 | 849,988 | 827,386 |

| 回次 | | 第19期<br>第２四半期<br>連結会計期間 | 第20期<br>第２四半期<br>連結会計期間 |
|---|---|---|---|
| 会計期間 | | 自 2018年10月１日<br>至 2018年12月31日 | 自 2019年10月１日<br>至 2019年12月31日 |
| １株当たり四半期純利益 | (円) | 10.13 | 12.12 |

(注) １．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２．売上高には、消費税等は含まれておりません。
３．2018年７月４日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年６月期第２四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から2019年６月期第２四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

### ２ 【事業の内容】

当第２四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

# 第２ 【事業の状況】

## １ 【事業等のリスク】

当第２四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

## ２ 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国を中心とする通商問題や国内での消費税率の引き上げ及び相次ぐ自然災害等の影響がありましたが、企業収益の底堅い推移を背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社サービスの主たる顧客にあたる流通業界においては、通販アイテムのサブスクリプション型提供への移行、オンラインとオフラインの融合など、在庫管理システムへのニーズは引き続き強い一方、物流コストで高い比率を占める配送料も課題となっております。

このような状況の中で、当第２四半期連結累計期間は、AGV連携、EC代金のコンビニエンスストア支払いシステムとの連携など自動化・省力化の関連対応、並びに消費税軽減税率対応などをロジザードZEROへ機能追加を行いました。また、2019年５月より販売を開始した店舗在庫管理システムのロジザードZERO-STOREの販売促進活動を積極的に行いました

この結果、クラウドサービス及び機器販売サービスが増加したことにより、当第２四半期連結累計期間の売上高は783,002千円（前年同期比3.3%増加）となりました。利益につきましては、人件費の増加により営業利益114,330千円（前年同期比13.8%減少）、経常利益 114,214千円（前年同期比11.1%減少）、親会社株主に属する四半期純利益76,788千円（前年同期比12.8%減少）となりました。

なお、当社グループは、在庫管理システムの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を行っておりませんが、サービス別の業績は、以下のとおりであります。

（クラウドサービス）

当サービスにおいては、新規取引先の増加などにより順調に推移し、当第２四半期連結累計期間における売上高は559,333千円（前年同期比12.8%増加）となりました。

（開発・導入サービス）

当サ－ビスにおいては、前期に大型開発案件の納品があった為、当第２四半期連結累計期間における売上高は164,549千円（前年同期比23.6%減少）となりました。

（機器販売サービス）

当サービスにおいて、サプライ品及びラベルプリンターなどの販売は順調に推移し、当第２四半期連結累計期間における売上高は59,118千円（前年同期比27.2%増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第２四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて62,340千円増加し、1,342,520千円となりました。

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて47,517千円増加し、1,091,582千円となりました。この主な要因は、売上高の増加により売掛金及び現金及び預金が増加したことによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて14,822千円増加し、250,937千円となりました。この主な要因は、主力製品であるロジザードZEROのバージョンアップによりソフトウェア仮勘定を計上したことによるものであります。

(負債の部)

当第２四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて31,708千円減少し、205,662千円となりました。当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて27,578千円減少し、205,662千円となりました。この主な要因は、未払法人税等及び未払賞与を支払ったことによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、借入金の返済により長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を除く）が前連結会計年度末に比べて4,130千円減少し、固定負債の残高はなくなりました。

(純資産の部)

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて94,048千円増加し、1,136,857千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加および新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ22,602千円増加し、849,988千円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、60,007千円(前年同期比18.8%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益114,214千円の計上があった一方、売上債権の増加13,305千円及び法人税等の支払額59,136千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、49,706千円(前年同期比6.9%増)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出45,766千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、12,276千円(前年同期比97.0%減)となりました。これは主に新株予約権の行使による収入17,280千円があったことによるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第２四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

**(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題**

当第２四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

**(6) 研究開発費**

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第２四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

# 第３ 【提出会社の状況】

## １ 【株式等の状況】

### (1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|---|---|
| 普通株式 | 10,000,000 |
| 計 | 10,000,000 |

② 【発行済株式】

| 種類 | 第２四半期会計期間末現在発行数(株)(2019年12月31日) | 提出日現在発行数(株)(2020年２月13日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 普通株式 | 3,258,000 | 3,258,000 | 東京証券取引所（マザーズ） | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 3,258,000 | 3,258,000 | ― | ― |

（注）提出日現在発行数には、2020年２月１日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

### (2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2019年10月１日～2019年12月31日（注） | 4,000 | 3,258,000 | 480 | 299,444 | 480 | 291,946 |

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

2019年12月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数(株) | 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%) |
|---|---|---|---|
| フューチャー株式会社 | 東京都品川区大崎１丁目２番２号 | 894,500 | 27.45 |
| 金澤　茂則 | 埼玉県川口市 | 359,500 | 11.03 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 東京都中央区晴海１丁目８番11号 | 338,700 | 10.39 |
| 創歩人ホールディングス株式会社 | 東京都江戸川区西葛西２丁目22番38号 | 215,000 | 6.59 |
| 野村信託銀行株式会社（投信口） | 東京都千代田区大手町２丁目２番２号 | 205,400 | 6.30 |
| 遠藤　えみ子 | 東京都江戸川区 | 70,000 | 2.14 |
| 遠藤　寛志 | 東京都江戸川区 | 70,000 | 2.14 |
| 遠藤　史織 | 東京都江戸川区 | 70,000 | 2.14 |
| ＢＮＹ　ＧＣＭ　ＣＬＩＥＮＴ　ＡＣＣＯＵＮＴ　ＪＰＲＤ　ＡＣ　ＩＳＧ（ＦＥ－ＡＣ）<br>（常任代理人　株式会社三菱ＵＦＪ銀行） | ＰＥＴＥＲＢＯＲＯＵＧＨ ＣＯＵＲＴ　１３３　ＦＬＥＥＴ　ＳＴＲＥＥＴ　ＬＯＮＤＯＮ　ＥＣ４Ａ　２ＢＢ　ＵＮＩＴＥＤ　ＫＩＮＧＤＯＭ<br>(東京都千代田区丸の内２丁目７番１号) | 69,075 | 2.12 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 東京都港区浜松町２丁目11番３号 | 50,000 | 1.53 |
| 計 | ― | 2,342,175 | 71.89 |

(注) 1　上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

| | |
|---|---|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 338,700株 |
| 野村信託銀行株式会社（投信口） | 205,400株 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 50,000株 |

2　2019年８月５日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、野村證券株式会社及びその共同保有者であるノムラ　インターナショナル　ピーエルシー（ＮＯＭＵＲＡ　ＩＮＴＥＲＮＡＴＩＯＮＡＬ　ＰＬＣ）及び野村アセットマネジメント株式会社が2019年７月31日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第２四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。
なお、その大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券等の数(株) | 株券等保有割合(%) |
|---|---|---|---|
| 野村證券株式会社 | 東京都中央区日本橋一丁目９番１号 | △1,500 | △0.05 |
| ノムラ　インターナショナル　ピーエルシー（ＮＯＭＵＲＡ　ＩＮＴＥＲＮＡＴＩＯＮＡＬ　ＰＬＣ） | 1 Angel Lane, London EC4R 3AB, United Kingdom | 20,900 | 0.66 |
| 野村アセットマネジメント株式会社 | 東京都中央区日本橋一丁目１２番１号 | 231,200 | 7.26 |

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|---|---|---|---|
| 無議決権株式 | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式(自己株式等) | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式(その他) | ― | ― | ― |
| 完全議決権株式(自己株式等) | ― | ― | ― |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 3,256,900 | 32,569 | 単元株式数は100株であります。 |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,100 | ― | ― |
| 発行済株式総数 | 3,258,000 | ― | ― |
| 総株主の議決権 | ― | 32,569 | ― |

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式34株が含まれております。

② 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

# 第４ 【経理の状況】

## １ 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

## ２ 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第２四半期連結会計期間(2019年10月１日から2019年12月31日まで)及び第２四半期連結累計期間(2019年７月１日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度<br>(2019年６月30日) | 当第２四半期連結会計期間<br>(2019年12月31日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 827,386 | 849,988 |
| 売掛金 | 167,008 | 180,256 |
| 商品 | 1,807 | 9,384 |
| 仕掛品 | 22,611 | 15,938 |
| その他 | 26,735 | 36,531 |
| 貸倒引当金 | △1,484 | △517 |
| 流動資産合計 | 1,044,064 | 1,091,582 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 22,156 | 23,139 |
| 無形固定資産 | 189,885 | 204,819 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 8,184 | 8,184 |
| その他 | 16,679 | 15,674 |
| 貸倒引当金 | △791 | △880 |
| 投資その他の資産合計 | 24,073 | 22,978 |
| 固定資産合計 | 236,115 | 250,937 |
| 資産合計 | 1,280,180 | 1,342,520 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 24,403 | 34,851 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,842 | 9,968 |
| 未払金 | 57,089 | 73,992 |
| 未払法人税等 | 63,637 | 41,925 |
| 賞与引当金 | 310 | 310 |
| その他 | 76,957 | 44,613 |
| 流動負債合計 | 233,240 | 205,662 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,130 | ― |
| 固定負債合計 | 4,130 | ― |
| 負債合計 | 237,370 | 205,662 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（2019年６月30日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（2019年12月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 290,804 | 299,444 |
| 資本剰余金 | 283,306 | 291,946 |
| 利益剰余金 | 470,541 | 547,329 |
| 自己株式 | △69 | △69 |
| 株主資本合計 | 1,044,583 | 1,138,651 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △1,773 | △1,794 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,773 | △1,794 |
| 純資産合計 | 1,042,809 | 1,136,857 |
| 負債純資産合計 | 1,280,180 | 1,342,520 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　2018年７月１日<br>至　2018年12月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　2019年７月１日<br>至　2019年12月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 757,664 | 783,002 |
| 売上原価 | 387,996 | 410,528 |
| 売上総利益 | 369,668 | 372,473 |
| 販売費及び一般管理費 | ※　236,954 | ※　258,143 |
| 営業利益 | 132,713 | 114,330 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 31 | 27 |
| 保険解約返戻金 | 1,455 | － |
| その他 | － | 4 |
| 営業外収益合計 | 1,487 | 32 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 168 | 91 |
| 株式交付費 | 3,766 | － |
| 株式公開費用 | 1,500 | － |
| その他 | 276 | 57 |
| 営業外費用合計 | 5,711 | 148 |
| 経常利益 | 128,489 | 114,214 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 128,489 | 114,214 |
| 法人税等 | 40,337 | 37,425 |
| 四半期純利益 | 88,151 | 76,788 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 88,151 | 76,788 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　2018年７月１日<br>至　2018年12月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　2019年７月１日<br>至　2019年12月31日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益 | 88,151 | 76,788 |
| その他の包括利益 | | |
| 　為替換算調整勘定 | △463 | △20 |
| 　その他の包括利益合計 | △463 | △20 |
| 四半期包括利益 | 87,687 | 76,768 |
| （内訳） | | |
| 　親会社株主に係る四半期包括利益 | 87,687 | 76,768 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　2018年７月１日<br>至　2018年12月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　2019年７月１日<br>至　2019年12月31日) |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 128,489 | 114,214 |
| 減価償却費 | 25,544 | 34,228 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △469 | △877 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △270 | - |
| 株式交付費 | 3,766 | - |
| 株式公開費用 | 1,500 | - |
| 受取利息 | △31 | △27 |
| 保険解約返戻金 | △1,455 | - |
| 支払利息 | 168 | 91 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △15,952 | △13,305 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 23,188 | △908 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 2,760 | 10,465 |
| その他の資産の増減額（△は増加） | △7,570 | △9,222 |
| その他の負債の増減額（△は減少） | △56,568 | △15,470 |
| その他 | 94 | 20 |
| 小計 | 103,192 | 119,208 |
| 利息の受取額 | 31 | 27 |
| 利息の支払額 | △168 | △91 |
| 法人税等の支払額 | △29,065 | △59,136 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 73,990 | 60,007 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,317 | △3,939 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △46,310 | △45,766 |
| 保険積立金の解約による収入 | 1,584 | - |
| その他 | △411 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △46,455 | △49,706 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △7,044 | △5,004 |
| 新株予約権の行使による収入 | - | 17,280 |
| 株式の発行による収入 | 434,286 | - |
| 株式公開費用による支出 | △1,500 | - |
| 株式の発行による支出 | △3,766 | - |
| その他 | △119 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 421,856 | 12,276 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △545 | 25 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 448,846 | 22,602 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 313,777 | 827,386 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※　762,623 | ※　849,988 |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

| | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　2019年７月１日　至　2019年12月31日) |
|---|---|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 |

(四半期連結損益計算書関係)

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　2018年７月１日<br>至　2018年12月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　2019年７月１日<br>至　2019年12月31日) |
|---|---|---|
| 役員報酬 | 29,586千円 | 29,586千円 |
| 給料及び手当 | 80,066 〃 | 89,124 〃 |
| 支払手数料 | 27,737 〃 | 31,437 〃 |
| 貸倒引当金繰入額 | 170 〃 | △583 〃 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、以下のとおりであります。

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　2018年７月１日<br>至　2018年12月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　2019年７月１日<br>至　2019年12月31日) |
|---|---|---|
| 現金及び預金 | 762,623千円 | 849,988千円 |
| 現金及び現金同等物 | 762,623千円 | 849,988千円 |

(株主資本等関係)

前第２四半期連結累計期間(自　2018年７月１日　至　2018年12月31日)

１．配当金支払額

該当事項はありません。

２．基準日が前第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が前第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

当社は、2018年７月４日に東京証券取引所マザーズに上場し、上場にあたり2018年７月３日に公募増資による払込を受けました。この結果、前第２四半期連結会計期間において資本金が165,600千円、資本準備金が165,600千円増加しました。また、2018年７月31日付で、野村證券株式会社からの第三者割当増資の払込を受け、資本金が51,543千円、資本準備金が51,543千円増加し、前第２四半期連結会計期間末において資本金が290,804千円、資本準備金が283,306千円となっております。

当第２四半期連結累計期間(自　2019年７月１日　至　2019年12月31日)

１．配当金支払額

該当事項はありません。

２．基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、在庫管理システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(１株当たり情報)

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　2018年７月１日<br>至　2018年12月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　2019年７月１日<br>至　2019年12月31日) |
|---|---|---|
| (1) １株当たり四半期純利益金額 | 27円88銭 | 23円65銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 88,151 | 76,788 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | ― | ― |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 88,151 | 76,788 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 3,161,353 | 3,245,892 |
| (2) 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額 | 26円42銭 | 22円81銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円) | ― | |
| 普通株式増加数(株) | 173,947 | 119,471 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | ― | ― |

(注) １．当社株式は、2018年７月４日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、新規上場日から前第２四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## 2 【その他】

**該当事項はありません。**

# 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年２月13日

ロジザード株式会社
　取締役会　御中

有限責任 あずさ監査法人

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 若　尾　慎　一 | ㊞ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 井　上　倫　哉 | ㊞ |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているロジザード株式会社の2019年７月１日から2020年６月30日までの連結会計年度の第２四半期連結会計期間(2019年10月１日から2019年12月31日まで)及び第２四半期連結累計期間(2019年７月１日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任
　経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任
　当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。
　四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
　当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論
　当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ロジザード株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第２四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係
　会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

(注) １．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
　　 ２．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。